

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	消化管の階層的粘膜支持連関システムによる粘膜防御機構の解明
研究代表者	清野 宏 (東京大学・医科学研究所・特任教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、腸管粘膜とそれを支持する組織との連関に焦点を当て、腸管粘膜上皮細胞層の機能と膵臓との連関、腸管粘膜と粘膜下層に位置する間葉系細胞との連関、粘膜の更に下層の平滑筋・神経系・脂肪細胞との連関を明らかにしようとするものである。提唱されている概念は斬新であり、Super Organ と呼ばれる腸管の恒常性維持と、その破綻に関する更なる理解のために価値ある研究であるとともに、クローン病や慢性腸管粘膜炎症の治療につながることを期待できる。</p> <p>また、本研究計画は、粘膜免疫に関する応募者のこれまでの研究活動に裏付けられたものとなっており、大きな研究成果が期待できる。</p>